



あおぎり

学校の教育目標
立志 共創 自立

令和7年度後期スタート

季節外れの暑さもようやくおさまり、過ごしやすい気候となりました。去る10月9日(木)には、令和7年度体育祭の結団式が行われました。今年度より、各団、各学級を熱くリードする団リーダーを各学級から選出しました。結団式では、その団リーダーたちが、各団の仲間の前で堂々とした姿と声量で、自身の決意を語る姿が素敵でした。また、その団リーダーの思いに応えようと、真剣に耳を傾け、その後の応援で、団リーダーの声量に負けないくらいの声を出す生徒らの姿が本当に印象的でした。大いに盛り上がる体育祭になるという予感を覚えました。

いよいよ後期が始まりました。始業式では、3年代表生徒が、これまでの自身の歩みを語ってくれました。紹介します。

なりたい自分へのステップ

私の「なりたい自分の姿」は「勇気を出して行動し、仲間とともに協力して成長できる自分」です。私がこの姿を目指す理由は、1、2年生の経験を通して「自分の思いを伝える」ことの大切さを学んだからです。

私は1年生の頃、全く自分の思いを伝えることができませんでした。伝えたい思いはあるのに「みんなが応えてくれなかったらどうしよう」という不安から行動にうつすことができませんでした。その結果、学級の仲間と交流することがなかなか出来ず、学級で過ごす時間が苦痛となり、いつも一人ぼっちのような感じがしていました。当たり前のことかもしれないけれど、「自分が伝えたいこと」は、はっきりと口に出して言わないと相手には伝わらないと、実感しました。

2年生になり、同じ後悔はしたくないと「思いを伝える」ことを大切にしようと決意し、少しずつ伝えられるようになりました。すると、後期に、自分のこれまでの頑張りを認め、班長をやってみないかと背中を押してくれる人がいました。しかし、それでも迷っている自分がいました。なぜなら、班長は、私には出来ない役割だと勝手に決めつけていたからです。その反面、「やってみたい」「挑戦しようかな」という思いもありました。それまで務めてきた役割は仲間に声かけをしなくてもよいものばかりでした。それらの役割も大切なことは理解しつつ、もっと自分には出来ることがあるのではないかと思い、やりがいを感じることが出来ずにいました。班長立候補に背中を押してもらえたことで、人との交流を避けていた自分の課題に直面し、その課題と向き合ってこなかったことに気付かされました。だから、これをきっかけとして「変わりたい!」と、強く思い班長に初めてなりました。しかし、最初からそううまくはいきませんでした。結局私は、「みんなが応えてくれなかったらどうしよう」という不安な気持ちで心が一杯になり、班の仲間に声をかけられず、モヤモヤする日々が続きました。そんな中、学級委員、班長が積極的にみんなに働きかける姿を見て、「あんなふうに声をかけるといいんだ!私もやってみよう!」

と思えるようになりました。勇気を出して班の仲間に『ここタン入力』の声かけをしてみると、すぐに仲間が応えてくれました。すごく嬉しかったです。その後は、毎日の生活の中で班のみんなと互いに声をかけ合うことが増え、充実した日々を過ごすことができました。

私はこの経験から、「相手のことを大切に思って行動したことは相手に伝わり、相手もそれに応えてくれること」を学びました。そして、私の思いに応えてくれる仲間がちゃんという！と分かり「学級が安心して生活できる私の居場所」となりました。

これらの経験で得た気持ちをもとに、3年生前期は、学習長に挑戦しました。もちろん、最初には不安な気持ちの方が勝ち、なかなか思うように活動出来ず、落ち込むこともありました。しかし、「このままではいけない！」「私ならできる！」という思いと「みんなは絶対応えてくれる」と信じて、勇気を出し、行動にうつしてみました。すると私の思いに応えてくれる仲間がいました。嬉しかったです。さらに、「授業の挨拶をもっと高めたい」と思った時も、今度はクラスのみんなが応えてくれました。今では、挨拶はクラスの財産となっています。私はクラスの仲間がいたからこそ、学習長をやり遂げることが出来たのだと思っています。クラスのことを信じて思いを伝えてよかったです。

後期は生活委員長を務めます。生活委員長として「誰もが安心して過ごせる長森中」を実現したいです。特に生活委員の活動で「あいさつ」を大切にします。私はこれまでの「あいさつ活動」でたくさんの人に「あいさつ」をされると安心しました。私のことを大切にしてくれていると感じたからです。だから、私がそうであったように、安心して過ごせていない人がまだいるかもしれない今、誰もが安心して過ごせる長森中学校にしたいと思います。

私を応援してくれた人たちの期待にも応えていくために、今まで以上に思いを伝え、「なりたい自分」の実現を目指していきたいです。

最後に、私たち3年生は、半年後卒業します。卒業式には3年生294人、全員が胸を張って卒業したいです。そのためにも、今日からの後期、最高学年としての自覚と責任をもって、何事にも全力で取り組み、『憧れられる最高学年』として生活していきます。

後期は行事が目白押しです。なりたい自分を明確にもっていてもそうでなくても、それぞれの場面で、自分も仲間も「楽しむ」ために何ができるかを見つけ、自分にできることをひたむきに組みたいです。一人ひとりが、行事を通して、今より素敵な「自分」を見つけられることを願っています。